

## インドネシア水道に係る情報収集 No. 180601W

検索サイト	Google	実施日	2018/06/12	実施者	T.Masuoka
検索方法：「Indonesia Water supply」で検索					
URL: <a href="https://newint.org/features/2018/05/21/ending-jakartas-water-woes">https://newint.org/features/2018/05/21/ending-jakartas-water-woes</a>					
標題： Jakarta's water woes					
<p>内容： 題名 ジャカルタにおける水にまつわる苦難</p> <p>○ジャカルタ市民の水道が民間会社により運営されてきた状況下で、公営化を勝ち取った歴史、そして、まだ残る問題点について紹介。</p> <p>* 歴史；1991年、世界銀行；施設改善のため9,200万ドルをジャカルタ水道公社 (PAM Jaya) に融資するとともに、民営化を強く推奨</p> <p>1995年 スハルト大統領が水道の民営化決定</p> <p>運営を許可された2社は、大統領の親族や家族が関与。</p> <p>* 問題点；給水時間の制限等</p> <p>給水時間 AM2時～AM5時、</p> <p>水売り業者から買うと価格石油缶一杯 4.5ℓで 45セントというべらぼうな値段であるのに対し、水道料金は1000ℓで 35セント</p> <p>* 水道公営化の判決獲得への歩み。</p> <p>2012年；民営化は不当であり、公営化にすべきと提訴。</p> <p>2015年；地方裁判所で勝訴（しかし、大統領等の提訴により1年後に逆転敗訴）。</p> <p>2017年4月；最高裁で勝訴確定、公営化決定（しかし、判決が公表された10月までの間に民営2社の株式が別の投資家に売却されたため、将来に問題が残った）。</p> <p>* 現状と問題点</p> <p>最高裁の判決によって無効とされるべき民営会社との契約が2023年まで有効であること。</p> <p>公営化の問題点；民営企業の従業員の失職、負債処理方法等。</p> <p>* 現在の取り組み；公営化推進活動家たちは、国際的な協力を得て、問題点解決のための第二ラウンドを戦っている。</p>					
備考					